

浸水被害軽減に向けた地下空間活用勉強会 設置趣旨

近年、全国各地で河川の氾濫や内水氾濫による浸水被害が生じており、頻発する水災害に対し、これまでの河道掘削や築堤、ダム、遊水地といった河川管理者による整備策に加え、自治体による雨水貯留施設の整備、田んぼや農業用水路を活用した雨水貯留など、あらゆる関係者が連携し、流域全体で治水対策に取り組む流域治水を推進しているところである。

一方、気候変動による災害の激甚化は、対策が追い付かないスピードで顕在化してきており、河川における治水対策については、これまでにない視点も含めてあらゆる対策を行うことが求められており、道路や鉄道、まちづくり等、他分野で活用されているにも関わらず、十分に活用できていない地下空間の活用を検討することも不可欠である。

地下空間の活用は、整備及び維持管理コストが高いといった課題があることから、効率的な整備や維持管理に向け、最新の技術的知見を集積することを目的に「浸水被害軽減に向けた地下空間活用勉強会」を設置する。